



## 【卒業生等とのディスカッションI】

### 《目的》

地元で働く卒業生等とのディスカッションを通じて、企業で働く方々の仕事に向き合う姿勢や、職業人としての意識を学ぶとともに、地域産業への理解を深める。

### 《実施内容》

- 日 時 平成29年12月12日(火)  
11:10~12:50
- 場 所 今治工業高等学校 大会議室
- 対 象 機械造船科1年生 37名
- 内 容 ・ディスカッション：主題「地域産業へのアプローチ」  
・ディスカッションの内容を各班でまとめ、代表生徒が発表



### 《講師》

- ディスカッションの助言（地元企業の卒業生等10名）  
[船舶産業]浅川造船(株)、(株)新来島どっく、伯方造船(株)  
矢野造船(株)、村上秀造船(株)  
[機械産業]今治ヤンマー(株)、潮冷熱(株)、真鍋造機(株)  
越智昇鉄工(株)、竹中金網(株)



### 《ディスカッションでの助言の内容》

- ・人から感謝されたとき、仕事がうまくいったときに、やりがいを感じる。また、船が完成したときや、進水したときにやりがいを感じる。
- ・失敗を恐れないこと。失敗を隠さないこと。そして、失敗から学ぶことがあるので、しっかりと受け止めて次に生かすこと。
- ・地元で就職すると地域に貢献できる。誇りを持って仕事している。

### 《生徒の感想・学んだこと》

- ・大切なことの一番は安全、二番は品質、三番は効率であることを学びました。
- ・コミュニケーション能力の向上が大切だと感じました。
- ・企業の方々が自分の仕事に誇りを持って取り組んでいることや、仕事を楽しく取り組んでいることが分かりました。
- ・当たり前のことを、当たり前にしっかきすることが大切だと感じました。

### 《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

- ・二人の助言者が協力しながら進行しており、よい活動ができていた。
- ・前のめりになって助言者の話を聞いている生徒の姿が見られ、熱のこもった活動が展開されていたのが印象的であった。

